

渡利カップに参加されている皆様

(一社) ネクサスポーツアカデミー
代表理事 渡邊真隆

本日は渡利カップ最終日となりました。
最後まで子供たちが全力でプレーをしてほしいと思います。

昨日は石川県で大きな地震が発生しました。
このたびの被害を心よりお見舞い申し上げます。

この渡利カップ開催について 2011 年の東日本大震災がきっかけでしたので、昨日の地震から改めて大会開催の経緯を記させていただきます。

震災による放射線量が福島市では渡利が高い地区となり、避難により子供の数が大幅に減少しました。

競技者の減少や部活動などを含めた屋外活動も大きな制限を受け、当時の子供たちは苦しい環境を強いられました。

そんな中で渡利中学校の OBOG (バスケットに関わらない人含む) が、渡利のそして福島の子供たちが元気になる何かをしたい、その思いから渡利カップの開催が実現した次第です。

その中でも大会会長である羽田謙太郎氏(渡利中 OB)は、子供への思い入れがとても強く、何としてもこの大会を継続させて震災当時の時間を風化させてはいけないという思いがあります。

昨日の地震から改めて渡利カップの開催意図について参加される方々にも共有をいただき、子供たちが全力でプレーできるよう、また子供たちは全力でプレーする環境が当たり前ではないということを、大会を通じて学んでいければと感じている次第です。

それでは最終日、そして今後ともよろしく願いいたします。